

2016年12月吉日

学校長 様

立命館中学校・高等学校
校長 成山 治彦

2016年度 立命館中学校・高等学校 公開授業研究会

ご案内（第2次）

師走の候、貴校におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

先日は第1次のご案内をさせて頂きましたが、今回、第2次のご案内をさせていただきます。

本校が長岡京市に移転して約2年が経過いたしました。昨年度は11月に全国私立大学附属・併設中学校・高等学校教育研究集会（附属校サミット）の会場校として、全国から約200名の先生方をお迎えして教育研究会を開催いたしました。今年度は、本校の研究授業を地域の先生方にご覧いただき、合評会等で忌憚なきご意見を頂戴することで、今後、よりよき教育活動が展開できればと考えております。

つきましては、標記の件につきまして、下記の要領で実施いたします。校務ご多忙の折とは存じますが、貴校より多数のご参加を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

名 称 : 2016年度 立命館中学校・高等学校 公開授業研究会

日 時 : 2017年1月31日（火）13:30～16:30

（当日は8:50～12:40まで、本校2Fアトリウムにて高校3年生による課題研究成果発表会も実施しています。ご希望の方はそちらもあわせてご覧頂けます）

場 所 : 立命館中学校・高等学校 <http://www.ritsumeai.ac.jp/fkc/>
〒617-8577 長岡京市調子1丁目1-1
Tel 075-323-7111（代表） Fax 075-323-7123

主 催 : 立命館中学校・高等学校

テ ー マ : Creative Learners が育つ未来型思考への挑戦

対 象 : 教育関係者（小学校教員、中学校教員、高等学校教員ほか）

参加費 : 無料

参加申込方法 : 別紙（参加申込書）に必要事項をご記入の上、Faxにて事務局（総務・研修部）までお送りください。なお、途中からの参加等も可能です。

申込み〆切 2017年1月23日（月）

内 容 (予定) :

時間	内容	場所																																									
8:50~10:40	G12 (高3) 課題研究 成果発表会 (口頭発表) 2会場に分かれて高3課題研究の優秀作品の成果発表会(口頭発表)を行います。自由にご見学頂けます。	2F小ホール CE(文社)コース GL(国際)コース 1Fプレゼンテーションルーム SS(理数)コース	自由にご見学ください																																								
10:50~12:40	G12 (高3) 課題研究 成果発表会 (ポスター発表) 2Fセンターアトリウムにて、高3の課題研究の全作品(計277テーマ)のポスターセッションを行います。自由にご見学いただけます。課題研究ポスターは当日午後もそのまま展示していますので、ぜひご覧ください。	2Fセンターアトリウム																																									
13:00~13:25	受付	1Fエントランス																																									
13:30~14:20	研究授業 (中学生および高校生) <table border="0" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;"><教科></td> <td style="text-align: center;"><授業担当者></td> <td style="text-align: center;"><クラス></td> <td style="text-align: center;"><授業場所></td> </tr> <tr> <td>① 国語科 (高校)</td> <td>檜本 由紀</td> <td>G12 (高3) 1組</td> <td>G9 (中3) 1組 HR</td> </tr> <tr> <td>② 社会科 (中学・歴史)</td> <td>小杉 真之</td> <td>G8 (中2) 6組</td> <td>G9 (中3) 2組 HR</td> </tr> <tr> <td>③ 数学科 (中学)</td> <td>廣松 光一郎</td> <td>G7 (中1) 7組</td> <td>G9 (中3) 3組 HR</td> </tr> <tr> <td>④ 数学科 (高校)</td> <td>吉川 秀夫</td> <td>G10 (高1) MS</td> <td>G9 (中3) 4組 HR</td> </tr> <tr> <td>⑤ 理科 (中学・物理)</td> <td>鍵山 千尋</td> <td>G7 (中1) 8組</td> <td>G9 (中3) 5組 HR</td> </tr> <tr> <td>⑥ 理科 (高校・地学)</td> <td>井上 貞行</td> <td>G12 (高3) 理地学</td> <td>3F地学実験室</td> </tr> <tr> <td>⑦ 英語科 (中学)</td> <td>中野 喬介</td> <td>G7 (中1) 5組</td> <td>G9 (中3) 6組 HR</td> </tr> <tr> <td>⑧ 英語科 (高校)</td> <td>橋本 彩</td> <td>G11 (高2) 10組</td> <td>G9 (中3) 7組 HR</td> </tr> <tr> <td>⑨ 情報科 (高校)</td> <td>小林 誠</td> <td>G11 (高2) 理情報I</td> <td>1Fメディアラボ2</td> </tr> </table>	<教科>	<授業担当者>	<クラス>	<授業場所>	① 国語科 (高校)	檜本 由紀	G12 (高3) 1組	G9 (中3) 1組 HR	② 社会科 (中学・歴史)	小杉 真之	G8 (中2) 6組	G9 (中3) 2組 HR	③ 数学科 (中学)	廣松 光一郎	G7 (中1) 7組	G9 (中3) 3組 HR	④ 数学科 (高校)	吉川 秀夫	G10 (高1) MS	G9 (中3) 4組 HR	⑤ 理科 (中学・物理)	鍵山 千尋	G7 (中1) 8組	G9 (中3) 5組 HR	⑥ 理科 (高校・地学)	井上 貞行	G12 (高3) 理地学	3F地学実験室	⑦ 英語科 (中学)	中野 喬介	G7 (中1) 5組	G9 (中3) 6組 HR	⑧ 英語科 (高校)	橋本 彩	G11 (高2) 10組	G9 (中3) 7組 HR	⑨ 情報科 (高校)	小林 誠	G11 (高2) 理情報I	1Fメディアラボ2		
	<教科>	<授業担当者>	<クラス>	<授業場所>																																							
① 国語科 (高校)	檜本 由紀	G12 (高3) 1組	G9 (中3) 1組 HR																																								
② 社会科 (中学・歴史)	小杉 真之	G8 (中2) 6組	G9 (中3) 2組 HR																																								
③ 数学科 (中学)	廣松 光一郎	G7 (中1) 7組	G9 (中3) 3組 HR																																								
④ 数学科 (高校)	吉川 秀夫	G10 (高1) MS	G9 (中3) 4組 HR																																								
⑤ 理科 (中学・物理)	鍵山 千尋	G7 (中1) 8組	G9 (中3) 5組 HR																																								
⑥ 理科 (高校・地学)	井上 貞行	G12 (高3) 理地学	3F地学実験室																																								
⑦ 英語科 (中学)	中野 喬介	G7 (中1) 5組	G9 (中3) 6組 HR																																								
⑧ 英語科 (高校)	橋本 彩	G11 (高2) 10組	G9 (中3) 7組 HR																																								
⑨ 情報科 (高校)	小林 誠	G11 (高2) 理情報I	1Fメディアラボ2																																								
	公開授業 (小学生) <table border="0" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">A 国語科 (5年)</td> <td style="text-align: center;">児玉健太郎</td> <td style="text-align: center;"><クラス></td> <td style="text-align: center;"><授業場所></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">B 算数科 (6年)</td> <td style="text-align: center;">川端 清継</td> <td>G5 (小5) T・I組</td> <td>G5 (小5) T組 HR</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>G6 (小6) T・S組</td> <td>G6 (小6) T組 HR</td> </tr> </table>	A 国語科 (5年)	児玉健太郎	<クラス>	<授業場所>	B 算数科 (6年)	川端 清継	G5 (小5) T・I組	G5 (小5) T組 HR			G6 (小6) T・S組	G6 (小6) T組 HR																														
A 国語科 (5年)	児玉健太郎	<クラス>	<授業場所>																																								
B 算数科 (6年)	川端 清継	G5 (小5) T・I組	G5 (小5) T組 HR																																								
		G6 (小6) T・S組	G6 (小6) T組 HR																																								
14:30~15:20	各研究授業合評会 研究授業の授業者コメントと参加者による協議	各授業教室にて																																									
	公開授業 (小学生) C 英語科 (6年) 正頭 英和	<クラス> G6 (小6) I組	<授業場所> G6 (小6) I組 HR																																								
15:30~16:20	記念講演 「教育現場におけるプレゼンテーションの極意」 エバンジェリスト・日本マイクロソフト株式会社業務 執行役員 西脇 資哲氏	清和会記念ホール																																									
16:20~16:30	閉会挨拶・諸連絡	清和会記念ホール																																									

※ 立命館小学校の5,6年生児童は、年間のうち一定期間、立命館中高の長岡京キャンパスに通学して学んでいます。この公開研究授業日も小学生児童の長岡京キャンパス登校日でもあり、立命館小学校の3つの授業を公開いたします(A:国語 B:算数 C:英語)。

研究授業 (13:30~14:20)

① 国語科 (Grade12/高3) 会場：2階 G9(中3)1組 HR 担当者：樫本 由紀

持ち寄ったおすすめ本を紹介し合い、その中で一番多くの人を読みたくなった本(チャンプ本)を決めるビブリオバトルを行います。高校2年生時、自分の考えを表現することが苦手な生徒が多い中、自分を語るきっかけの一つとして始め、回を重ねてきました。高校最後となる6回目のビブリオで、生徒たちがどのような本を持ち寄り、何を語るのか、ご覧いただけたらと思います。

② 社会科 (Grade8/中2) 会場：2階 G9(中3)2組 HR 担当者：小杉 真之

自明なもののように、実はそうではない「日本」「日本人」の概念について、古代から明治初期の歴史過程に即して考えさせる。授業の2週後に、沖縄を訪問する生徒たちに、国家・国民が、自明・不変のものではないことを認識させたい。

③ 数学科 (Grade7/中1) 会場：2階 G9(中3)3組 HR 担当者：廣松光一郎

グループで一緒に考えたり教え合ったりしながら、既習の範囲を新たな視点から数学の事柄を考える授業を行います。生徒はコンパスと定規で学習した三角形の五心(重心、垂心、内心、外心、傍心)の、折り紙による作図に挑戦します。数学には様々なアプローチがあることに気づくことによって数学に対する興味関心を高め、新しい発見を人に伝えることで表現力を養う授業にしたいと思います。

④ 数学科 (Grade10/高1) 会場：2階 G9(中3)4組 HR 担当者：吉川 秀夫

日常の事象を数学の世界で考察できるようにモデル化することを、生徒の発想を中心として組み立てる授業を試みる。「数列」の総まとめとして漸化式を活用する。実験による試行を経て第 n 項を予想すること。予想が正しいことを漸化式をつくり、それを解くことによって予想が正しいことを立証する。特に第 n 番目から第 $(n+1)$ 番目への変化に注目し、漸化式をつくることを意識させたい。また、少し発想を転換することで既知の内容に結びつけることができることにも気付かせたい。

⑤ 理科 (Grade7/中1) 会場：2階 G9(中3)5組 HR 担当者：鍵山 千尋

化学変化の導入の授業を行います。「ろうそくの燃焼」の現象を用いて何が起きているかをグループ毎に考察し、ワークシートを記入して発表を行います。ろうそくを題材にした授業はいくつかありますが、今回は、英国で開発された「CASE」という理科・数学教育プログラムのワークシートを利用して授業を行います。

⑥ 理科 (Grade12/高3) 会場：3階 地学実験室 担当者：井上 貞行

立命館中学校・高校の理科では実験等、体験を通して学ぶ学習を重視しています。通常の実験授業では与えられたテーマに対して、科学的に解釈する力を養うことに焦点を当てられますが、今回の理系地学の授業では「自然の中から法則性を見つける力を養う」ことを目的とした授業を行います。

⑦ 英語科 (Grade7/中1) 会場：2階 G9(中3)6組 HR 担当者：中野 喬介

立命館小学校で6年間英語を学習した生徒を対象に比較級を導入・演習・アウトプット活動の流れで授業を行います。小学校時からAll in Englishで授業をしている子供たちに、小学校の教材を復習として使い解説し、「そういう事だったのか!」と文法の仕組みを理解させ、文法を楽しみ、自分のものとして使えるように授業をしたいと思います。

⑧ 英語科 (Grade11/高2) 会場：2階 G9(中3)7組 HR 担当者：橋本 彩

「1年次：文法事項の定着、2年次：読解力の増強、3年次：英作文力の増強」と、段階的に積み上げる指導をこころがけてきました。現在は3年生への移行期として、リーディング素材を元に様々なインプット活動を行い、最終的に「書く」ことにつなげています。また、書いたものを客観的に見直し、ミスに気付ける力を養いたいと思います。

⑨ 情報科 (Grade11/高2) 教室棟1階 メディアラボ2 担当者：小林 誠

図形の描写、変数、条件分岐、繰り返しといったプログラミングの基礎的な処理を学ぶ理系の選択講座です。Processing というプログラミング環境を使います。edmodo という無料の教育用 SNS サービスを活用し、生徒の教え合いや自主的な参加を促すことを目指しています。

*各研究授業の合評会 (14:30～15:20) は、それぞれの授業教室で引き続き行います。

小学生 公開授業 (13:30～14:20)

A 国語 (Grade5/小5) 会場：4階 G5(小5)T組 HR 担当者：児玉健太郎

小学校の古典が、音読・暗唱と現代語訳だけでは大変残念です。音読やあらすじの理解が基本となることは事実ですが、やはり現代語で書かれた文学作品と同じように深く読むことで、古典作品の面白さが分かります。言葉にこだわって深く楽しく読むアクティブラーニングの授業で、児童と共に古典の楽しさを味わうことを目指します。

B 数学 (Grade6/小6) 会場：4階 G5(小6)T組 HR 担当者：川端 清継

6年生では、小学校算数の履修を終えた後、算数の演習とともに数学を学習しています。算数の知識を使って知識を深めることができる代数と幾何の範囲を扱っていますが、今回の授業では解析の導入としていろいろな関数がつくるグラフをかき、それに魅了されながら中高数学への興味や関心を惹いていきます。

小学生 公開授業 (14:30～15:20)

C 英語 (Grade6/小6) 会場：4階 G6(小6)I組 HR 担当者：正頭 英和

2020年の英語教科化に向けて、「文法指導」「小中連携」などが注目を集めています。本時では、関係代名詞を文法項目として扱い、「英語のみ」の授業の中で日本語を使わずに導入します。中学生でも難しい文法事項を、小学生にどのように理解させていくのか。その方法をご紹介します。

記念講演 (15:30~16:20) 清和会記念ホールにて

～教育現場におけるプレゼンテーションの極意～

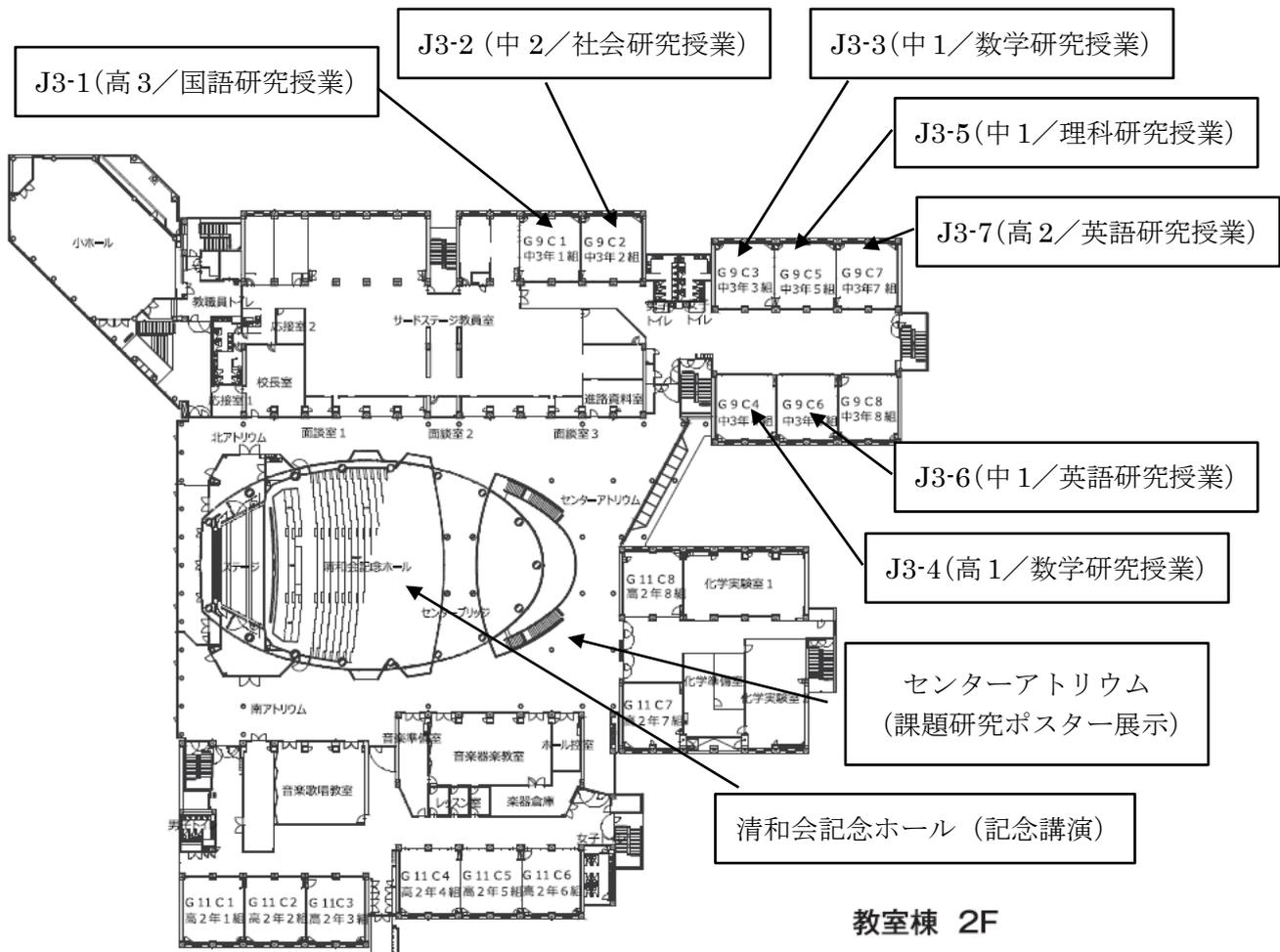
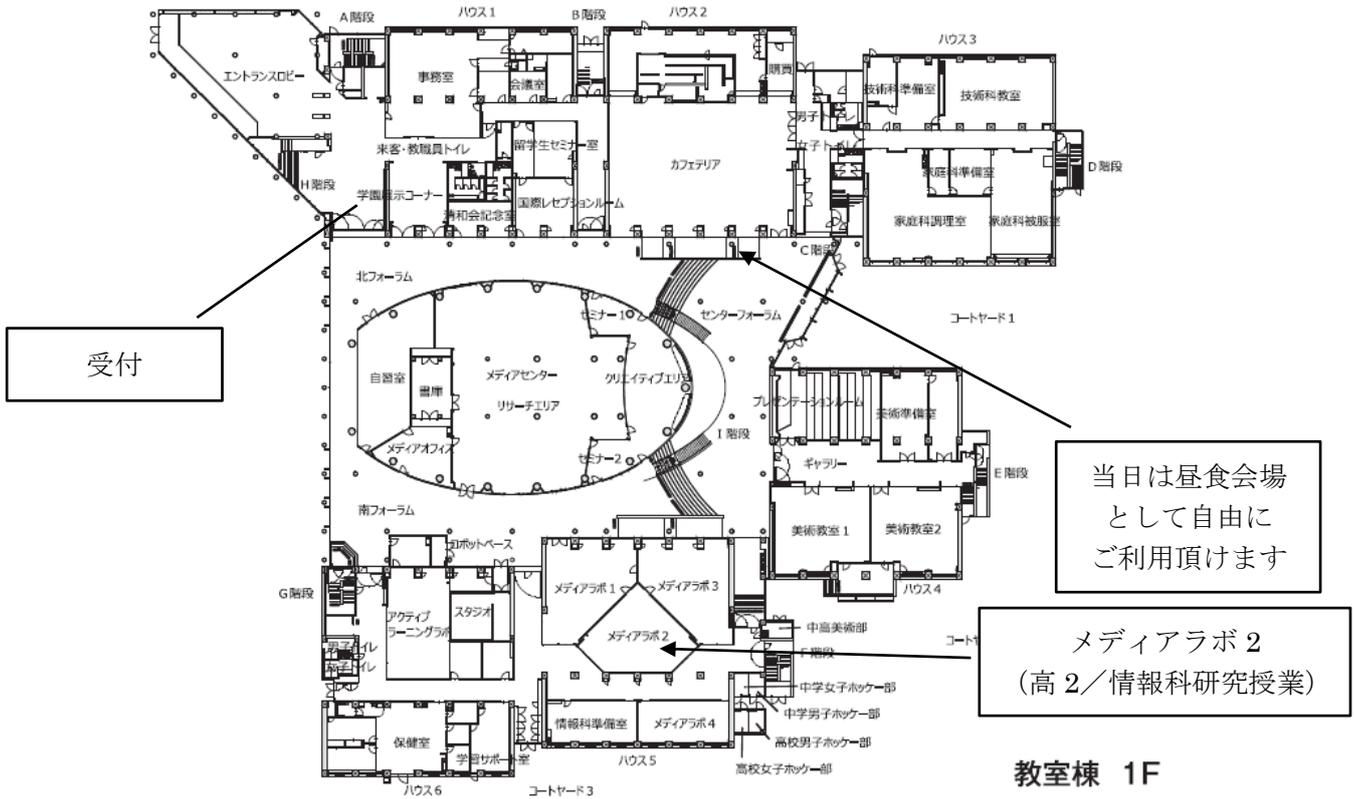
講師：西脇 資哲（にしわき もとあき） 氏

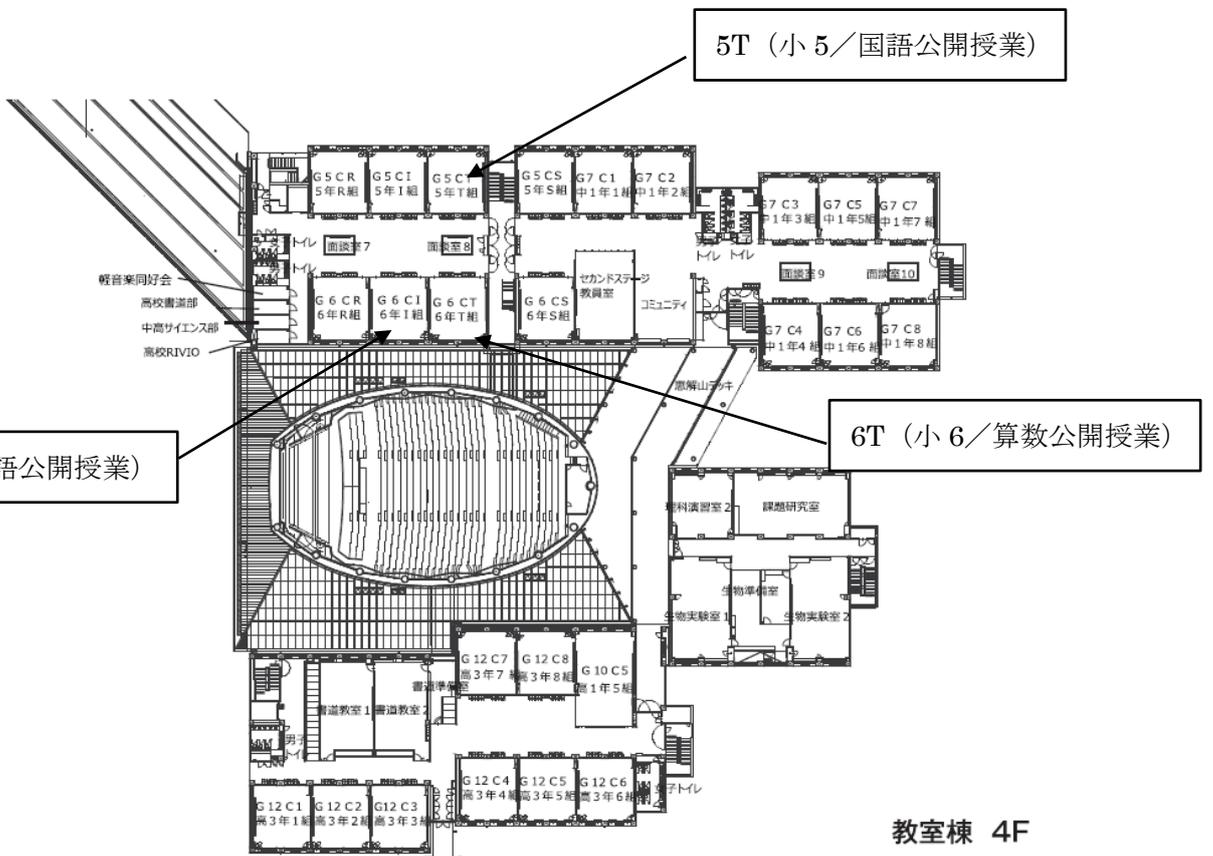
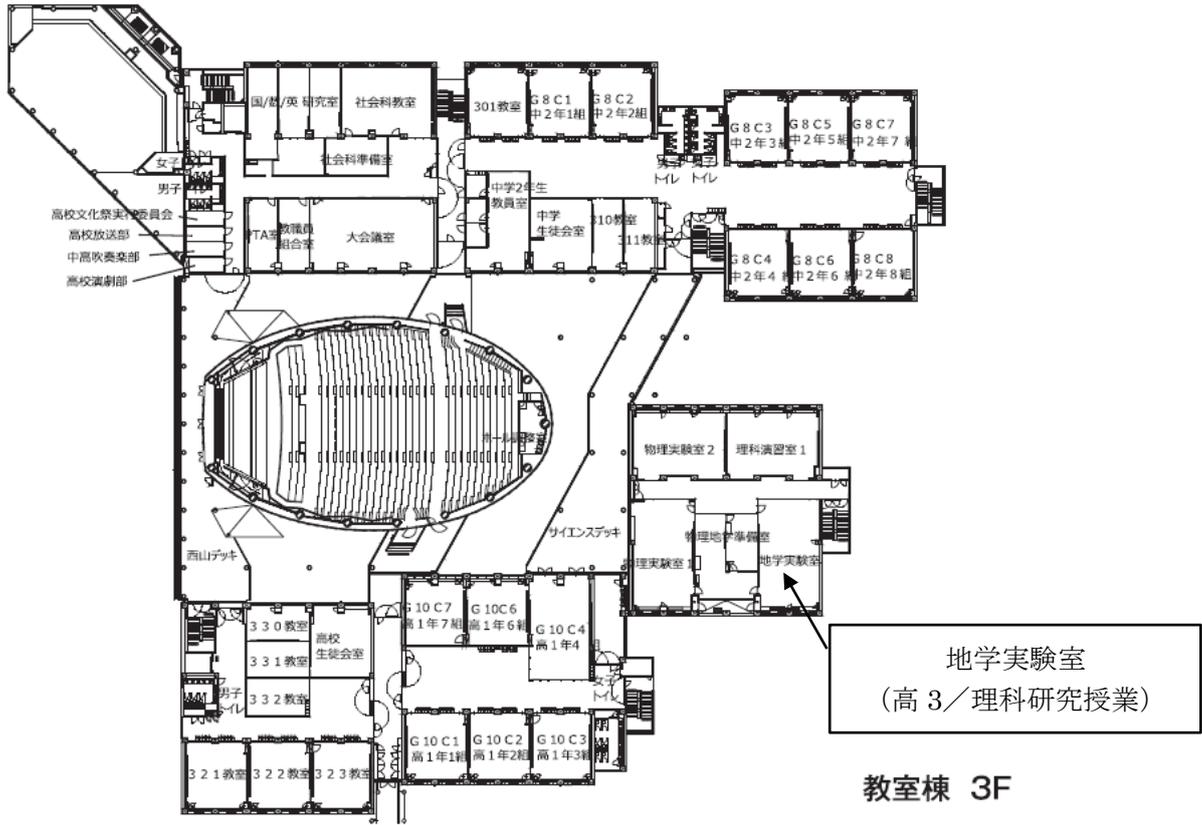
日本マイクロソフト株式会社 業務執行役員／エバンジェリスト

1969年生まれ。岐阜の小さなシステム会社でプログラマーとしてモニター画面に向き合う日々を過ごしつつ、ひそかにプレゼン技術の研究を重ねる。96年、日本オラクルに入社し、プロダクトマーケティング業務を経験。その後、IT業界屈指のプレゼンターとして頭角を現す。09年、マイクロソフトに入社後、マイクロソフト製品すべてを扱う唯一の日本人エバンジェリストとして活躍。2014年より業務執行役員。

また、独自のプレゼンメソッドが口コミで広がり、全国から講演・セミナー依頼が殺到。「年間 250 講演、累計 5 万人以上・200 社以上が受講」という圧倒的実績を持つ No.1 プレゼン講師としても知られている。三井住友海上、日立製作所、NHK 放送研修センター、JT、富士通、サイボウズ、ルネサンス、クレハ、日本ユニシス、国会議員、環境省、立命館小、筑波大附属駒場中・高など、大手市場企業から初等教育の現場にいたるまで、幅広い層の「伝える力」向上に貢献。また、2010年より継続開催中の「エバンジェリスト養成講座」では、定員が即座に埋まるほどの人気を誇る。著書に『エバンジェリスト養成講座』（翔泳社）、『エバンジェリストの仕事術』（日本実業出版社）がある。







■立命館中学校・高等学校へのアクセス



立命館中学校・高等学校

〒617-8577

京都府長岡京市調子一丁目 1-1

TEL : 075(323)7111 (代)

FAX : 075(323)7123

- 阪急西山天王山駅より徒歩約 6 分
(西国街道を北東に)
- JR 長岡京駅より徒歩約 15 分
(西国街道を片泓交差点から南へ)
- 京阪淀駅よりバス約 12 分
(調子バス停より、西国街道へ)

■備考

- ① 立命館中学校・高等学校には公共交通機関でお越し下さい。自家用車でのご来校はお断りしていますが、やむを得ない事情で自家用車でのご来校を希望される場合は、上記学校代表に事前にお電話下さい。
- ② 民間のコインパーキングは、阪急電車の西山天王山駅前に複数あります。台数には限りがありますが、必要に応じてご利用ください。
- ③ 理科に関しては、立命館附属校理科公開授業研究会と兼ねています。

■お問い合わせ

2016 年度 立命館中学校・高等学校 公開授業研究会 事務局 (総務・研修部)

担当：久保田一暁 (教頭・教学担当), 中村圭吾 (主幹・総務研修部長)